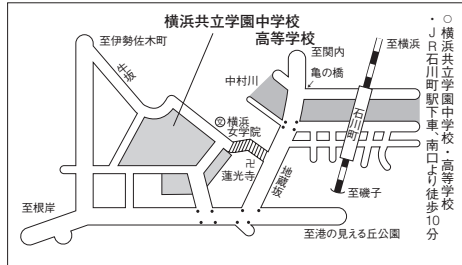




横浜共立学園高等学校

〒231 - 8662 神奈川県横浜市中区山手町212 TEL045 - 641 - 3785 学校長 小澤 伸男



〈URL〉<http://www.kjg.ed.jp>

沿革 1871（明治4）年母体である亜米利加婦人教授所（American Mission Home）を創立。1872年現在地に移転、日本婦女英学校と改称。1875年共立女学校と改称。1932（昭和7）年財団法人「横浜共立学園」設立。1947年学制改革により中学校を設置、横浜共立学園中学部と改称。1948年学制改革により高等学校を設置、横浜共立学園高等学部と改称。1951年私立学校法により財団法人から学校法人に組織変更、それぞれ横浜共立学園中学校、横浜共立学園高等学校と改称。2021（令和3）年創立150周年を迎えました。

なお、横浜共立学園の英語名DOREMUS SCHOOL（ドリームス・スクール）は、3人の女性宣教師を派遣した米国婦人一致外国伝道協会の初代会長S.P.Doremusにちなんで名付けられたものです。

校風・教育方針

3人のアメリカ人女性宣教師、ブライン、クロスビー、ピアソンによって、「日本の女性たちに新しい教育の光を当てる」ことを目的として設立されて以来、キリスト教教育を推進しています。

『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また隣人を自分のように愛しなさい』（新約聖書ルカによる福音書10章27節）を創立精神とし、「一人の人間を無条件に尊重し愛する」というキリスト教精神に基づいた人格教育を受け継いでいます。毎朝守られる礼拝を通して、一人ひとりが神から愛されていることを知り、愛と喜びをもつ

今春の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください



て他者に仕える心が育まれていきます。また、国際理解週間、ハンセン病を正しく理解する週間を設け、貧困や差別などによる苦しみや痛みを心で寄せ、人々と共に生きることを学びます。

カリキュラムの特色

中高一貫校として6力年の連続した教育の利点を生かし、6力年を、基礎の充実・学業の推進・将来への目標の確立と3段階に分け、発達段階に合わせた授業を行っています。また、教科の学習を大切に、教師と生徒はお互いに教科の学習を通して真理を知る喜びを共有しています。

英会話は、3人のアメリカ人教師によって1クラスを二つに分て、きめ細かな少人数教育を実施し、高等学校の英語、数学の授業の一部を習熟度別で行っています。また、高校2年次からⅠ類（文系）とⅡ類（理系）に分かれ、少人数制の選択授業を大幅に取り入れ、生徒一人ひとりの目標にそった学習ができるようになっています。

こうした取り組みにより、全教科において成果をあげています。

なお、完全な中高一貫教育を実現するため、高等学校では新入学の生徒は公募していません。

環境・施設設備

横浜市中区の閑静な山手の丘の上にあり、西に



2期制

登校時刻 8:20

昼食 弁当持参、パン・弁当売店

土曜日 休日（行事・部活動あり）

遠く富士山を仰ぎ、北東に横浜港やみなとみらい地区を望む、優れた教育環境にある学校です。

学園の施設の中心には、1931年落成の横浜市指定有形文化財第1号である木造3階建ての本校舎があります。その東側には中学の教室や理科・家庭科・芸術科の特別教室のある東校舎があり、南側には高校の教室や礼拝堂（1200席）等のある南校舎があります。また、西側には多目的ホール等のある西校舎があり、4つの校舎間は渡り廊下を歩いてバリアフリーで行き来することができます。

体育館は、本校舎の北側に位置し、バスケットボールコート2面とバレーボールコート1面が同時にとれる広さがあります。

また、グラウンドは緑の鮮やかな人工芝で、中学校・高等学校の全校生徒1000人余りでの運動会を実施するのに十分な広さがあり、さらにテニスコート2面がある球技コートを持っています。

生活指導・心の教育

「一人ひとりを大切にする」キリスト教の愛の教育に基づき、人と人との関係を大切にするとの観点から、「あいさつをする」「時間を守る」「物

を大切にすること」ということに、生活の基本をおいています。6力年の間に、生徒たちは自然に、こうした基本をわきまえた女性に成長していきます。

学校行事・部活動

修養会・収穫感謝礼拝・クリスマス礼拝などのキリスト教行事をはじめとして、運動競技大会・球技大会・持久走大会・秋桜祭（文化祭）・修学旅行などの学校行事が1年を通して行われており、心身ともに充実した学園生活を送るうえで重要な役割を担っています。

部活動の目的は、特定の選手を育成することではなく、生徒各人の趣味・適性などにしたがって同好の者同士が集まり、自主的に活動する中で個性を伸ばしていくことです。英語部・演劇部・美術部・天文部・家庭科部・管弦楽部・バスケットボール部・硬式テニス部・ソフトボール部・ロボット研究会・競技かるた同好会・YWCA・ハンドベルクワイヤーなど、文化系15・体育系8・同好会7・宗教系3があり、土曜日や休暇中の一定期間も、熱心な活動を行っています。

データファイル

■2026年度入試日程

変更となる場合がありますので、学校HPでご確認ください

中学校

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
A 150	1/6～1/29※	2/2	2/2	未定
B 30	1/6～2/1※	2/3	2/3	未定

※A・B両方式同時出願者は1/6～1/29

高等学校

募集を行っていません

■2026年度選考方法・入試科目

中学校

A方式は4科（国語、算数、社会、理科）

B方式は2科（国語・算数）

〈配点・時間〉A方式：国・算＝各100点45分 理・社＝各100点40分 B方式：国・算＝各100点50分 〈面接〉なし

■指定校推薦枠のある主な大学

横浜市立大 早稲田大 慶應義塾大 青山学院大 中央大 法政大 明治大 立教大 学習院大 東

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください

京理科大 北里大 国際基督教大 津田塾大 東京女子大 日本女子大 東京薬科大 明治薬科大 など

■2025年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
170人	155人	0人	0人	0人	0人	15人

■2025年度入試結果

中学校

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
A 150	241	229	179	1.3
B 30	393	140	102	1.4

学校説明会 要予約

11/8

入試説明、校内見学、個別相談あり

※学校HPでご確認ください

見学できる行事 要予約

秋桜祭（文化祭）

10/11・10/13

※学校HPでご確認ください